

岩手県生協連主催 協同組合公開講座

食・食料と協同組合

～コロナ禍、気候変動の影響で心配される食料確保

「食」のために“生協”がめざすべき大切なこと～

2021年1月29日(金) 13:30～15:30

ところ アイーナ8階 812

参加無料



講師紹介

横山英信(よこやまひでのぶ) 教授

1962年宮崎県生まれ。1986年東北大学経済学部卒業。1995年から岩手大学に勤務し、2004年より人文社会科学部教授。専門は農業経済学、経済政策。生協との関りでは、産直運動や地産地消の取り組みに長年にわたり助言やご協力をいただいております。大学以外では、農民大学学長、いわて食・農ネット副会長など、様々な民主団体や市民の運動面にも幅広く関わり、学習講演会はいつも好評です。

コロナウイルス感染拡大による経済の停滞によって、世界では食料の入手が困難な人が増えています。日本の食料自給率は38%と先進国では最低レベルですが、政府はそれを向上させる政策より、国際貿易協定によって一層輸入を増やす政策を進めてきました。しかし、このまま外国に食料を依存し続けて大丈夫でしょうか。

生協は、少しでも安心できる食べ物を、安定的に手に入れ、地域も守りたいと考え、地産地消や産直運動を進め、農林水産業を守る運動にも取り組んできました。

コロナ、気候変動など予測できない不安が増していく中、「毎日の食」「将来の食料」を守るために生協が強めるべき大事な主張や、事業運動、私たち個人ができることは何でしょうか？コロナ禍だからこそ改めて学び、考えてみましょう。

<スケジュール予定> 13:30 開会
13:35～15:00 講演
15:10～15:30 質疑応答
15:30 閉会

※参加希望の方は事前にお申し込みください。(お名前・電話番号・生協名)。

参加者は、マスク、手指消毒をお願いします。申込〆切：1月20日

参加お申し込み・お問合せ 岩手県生活協同組合連合会 TEL019-684-2225 FAX019-684-2227